



ログミーFinance 個人投資家向けIRセミナーご参加のみなさまへ

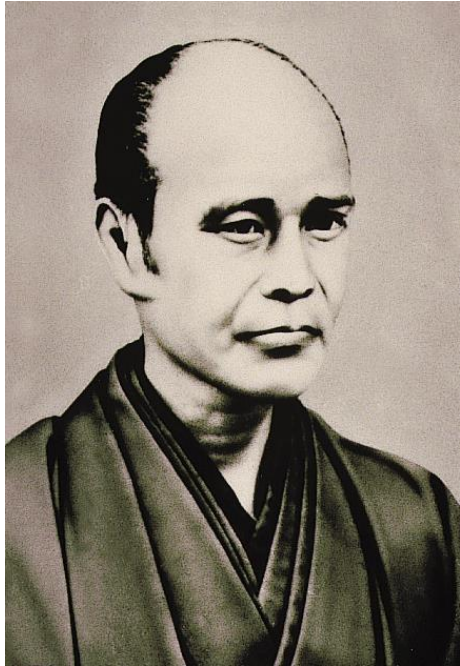
株式会社島津製作所のご紹介(東証プライム市場：証券コード7701)

コーポレート・コミュニケーション部IRグループ | 2025年3月22日

01 会社概要

島津製作所の概要


社 是 : 科学技術で社会に貢献する
経営理念 : 「人と地球の健康」への願いを実現する




初代 島津源蔵

科学技術立国を目指し
仏具職人から
理化学器械の製造を開始

創業
 1875年
(創業150年/本社:京都)

売上高(2023年度)
 5,119億円
(過去10年の平均成長率6%)

営業利益(2023年度)
 728億円
(過去10年の平均成長率12%)

国内分析・
計測機器製造
 最大手

連結従業員数
 14,219名
(2024年3月31日現在)

時価総額
約 1兆 1,740億円
(2025年3月14日時点)

PER
20.10倍
(2025年3月14日時点)

PBR
2.34倍
(2025年3月14日時点)

科学は実学である



【二代 島津源蔵の言葉】

科学は実学である。人の役に立たなければ
理論だけ知っていても意味はない



社是：科学技術で社会に貢献する

1895年

レントゲン博士がX線を発見

1896年

二代島津源蔵がX線写真の撮影に成功

1897年

蓄電池の工業生産を開始

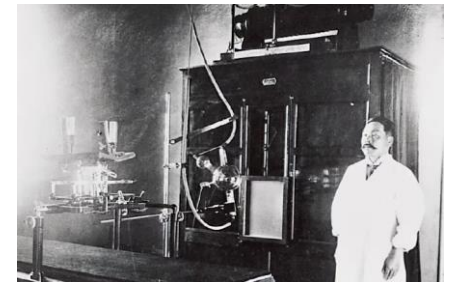


GS (Genzou Shimadzu) 蓄電池

1909年

日本初

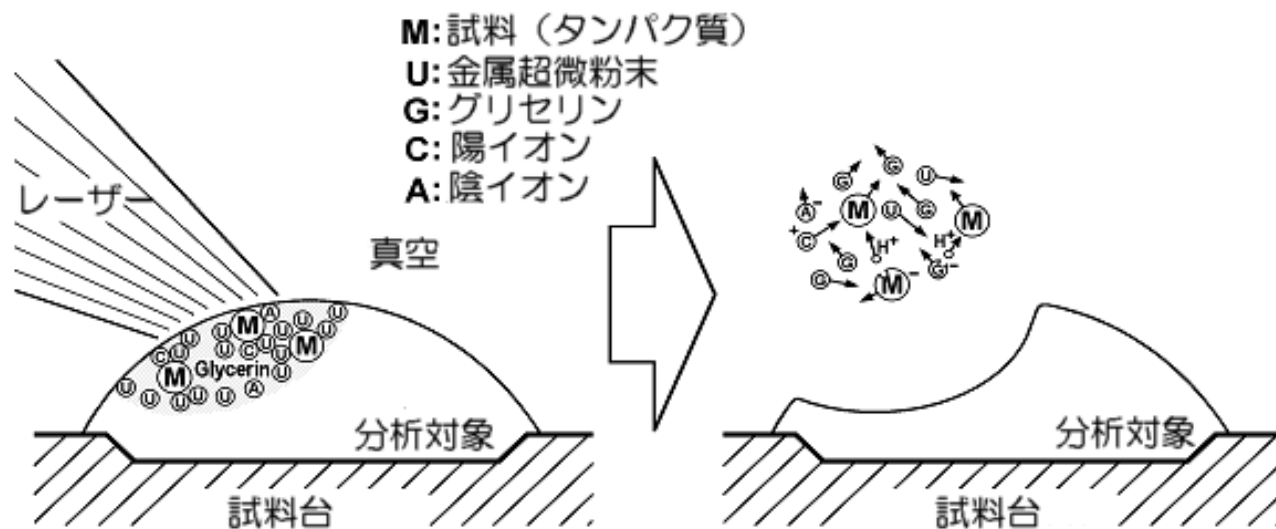
医療用X線装置を完成



技術の高みへ

2002年田中耕一がノーベル化学賞を受賞

ソフトレーザー脱離イオン化法



タンパク質を世界で初めてイオン化することに成功

- ・質量分析でタンパク質を研究する道が開かれる
- ・病気の診断や薬の開発に不可欠な技術

・質量分析システムを活用した病気の早期診断

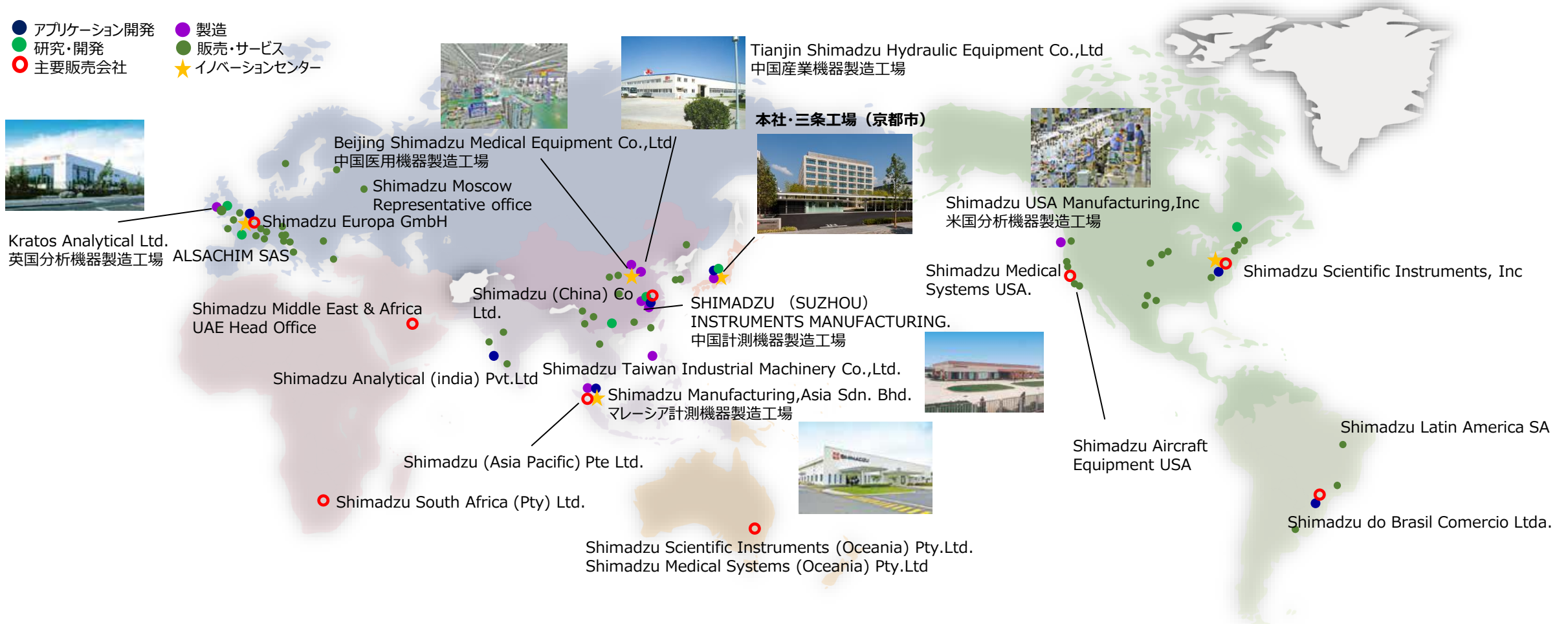


アルツハイマー病の原因物質を測定する「アミロイドMS CL」

海外拠点

■ 海外拠点は世界25か国（海外55社・国内24社）

- アプリケーション開発
- 研究・開発
- 主要販売会社
- 製造
- 販売・サービス
- ★ イノベーションセンター

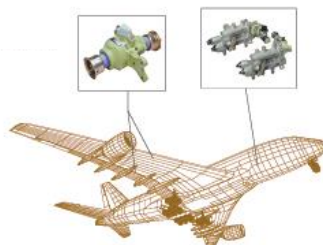


事業セグメント

航空機器事業

6%

287億円



フライトコントロールシステム

フライトコントロールシステム

最先端の搭載機器を提供し、「安全・快適、負荷軽減」に貢献

その他
1%

産業機器事業

13%

661億円

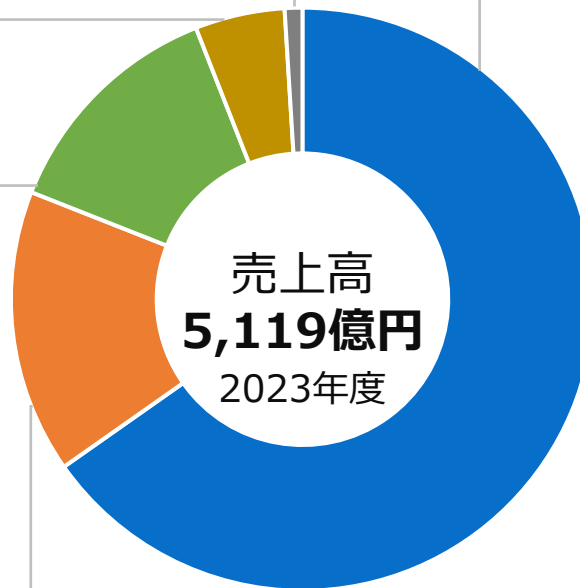


ターボ分子ポンプ



油圧ギヤポンプ

高性能なキーコンポーネントを提供し、最先端のものづくりの発展に貢献



計測機器事業

66%

3,383億円



液体クロマトグラフ質量分析システム

分析計測機器を提供し、様々な分野で、研究や技術開発、品質管理に貢献

医用機器事業

14%

723億円

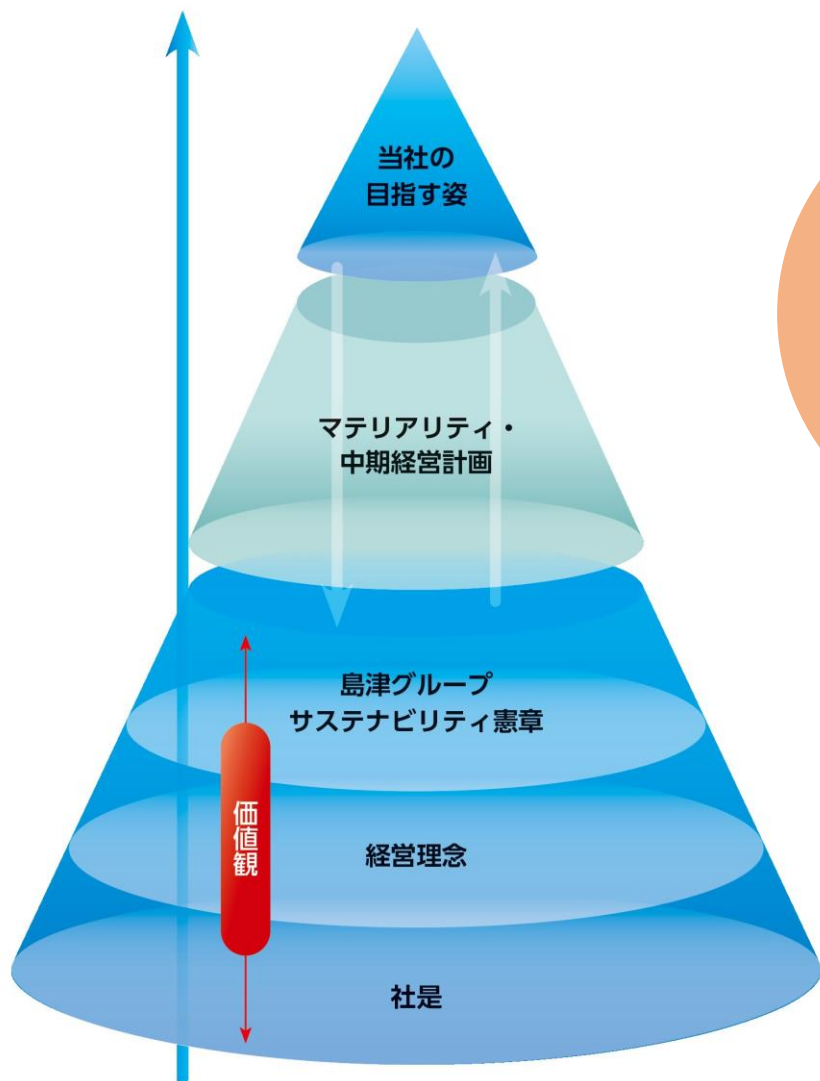


血管撮影システム

X線画像診断装置を提供し、人の健康の維持・向上に貢献

02 目指す姿

目指す姿



プラネタリーヘルス（人と地球の健康）の追求

ヘルスケア領域

人の命と健康への
貢献

グリーン領域

地球の健康への
貢献

マテリアル領域
インダストリー領域

産業の発展、安心
安全な社会の
実現への貢献

中期経営計画 2025年度 業績目標
世界のパートナーと共に社会課題を解決するイノベティブカンパニーへ

売上高 5,500億円 営業利益 800億円 営業利益率 14.5%
ROIC 11.0%以上 ROE 12.5%以上

島津グループサステナビリティ憲章

社是：科学技術で社会に貢献する

経営理念：『人と地球の健康』への願いを実現する

03 ヘルスケア領域 ～人の命と健康への貢献～

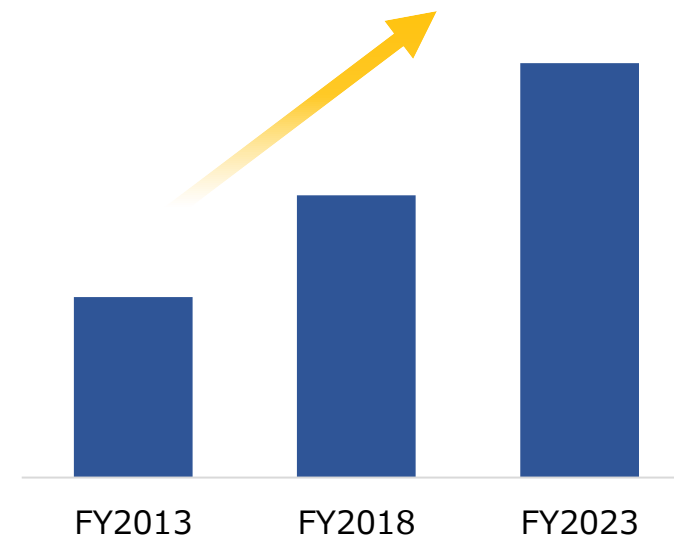
当社の製薬市場における状況

- 高成長を続ける**製薬市場**で、**市場の伸びを上回る事業拡大**
- **日本、インド、中国などアジア**で
当社分析計測機器が品質管理部門で
高シェアを確立
- **低分子・中分子医薬に注力**
- **北米の大手製薬企業を開拓中**



液体クロマトグラフ

製薬市場向け売上高



医薬品市場

医薬の種類	市場規模(2020年)	CAGR(2020-2026年)
低分子	48兆円	4%
高分子(抗体)	16兆円	6%
中分子(核酸)	4,500億円	17%
細胞治療	3,600億円	36%

製薬分野～北米業績拡大に向けた製薬市場への取り組み～

製品の拡販

- 顧客ニーズを反映した特徴ある製品をドアオープナーに大手製薬企業を開拓中

製薬市場開拓



セミ分取超臨界流体クロマトグラフ

臨床市場開拓



高効率多流路LCMS

営業力強化

- 製薬向けの営業（販売員を2倍増）やマーケティング、サービスの強化
- 臨床担当販売員の新規採用
- デジタルを活用したインサイドセールスを導入

開発力強化（北米R&Dセンター3施設設立）

- 重要顧客と共同開発を進め、先端ニーズに対応した北米発の製品投入
- 製薬や臨床分野で、液体クロマトグラフや質量分析システムのアプリケーション開発力を強化

西海岸開発センター

製薬&バイオ系企業と協働しアプリケーション開発

東海岸開発センター

大手製薬上流部門やアカデミアと協働し、アプリケーション開発



北米3拠点での
開発体制構築

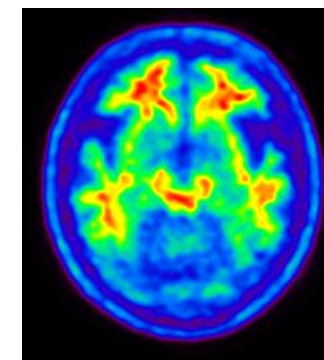
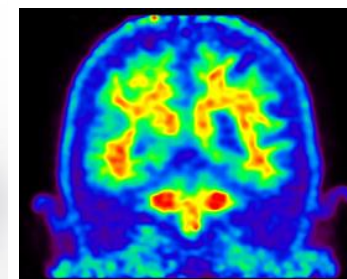
北米R&Dセンター

- 核酸や遺伝子治療薬領域に向けた製品・アプリケーション開発
- 標準化・規制化への対応

アルツハイマー病への取り組み



血液検査で脳内アミロイドβ蓄積の推定



PETによる脳内のアミロイドβ蓄積の画像化

「幸せな健康長寿の実現」へ向けて

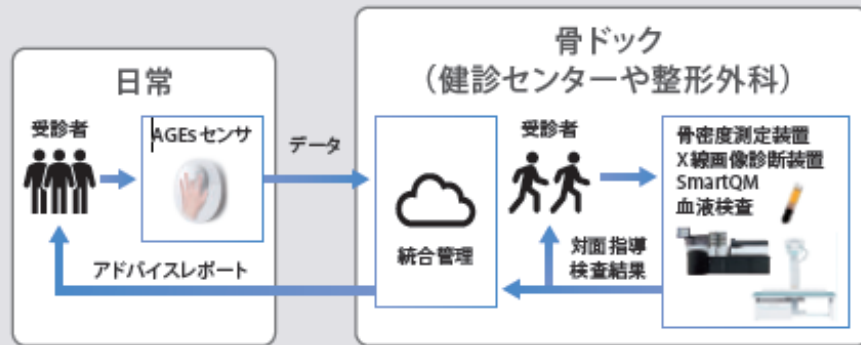
1) 慈恵大学

- ◆ 5カ年の包括連携協定を締結（2021年12月～）
- ◆ “骨の健康” について臨床ニーズの探索、共同研究の促進、人材育成を推推

2) 島津×東北大学 超硫黄生命科学共創研究所

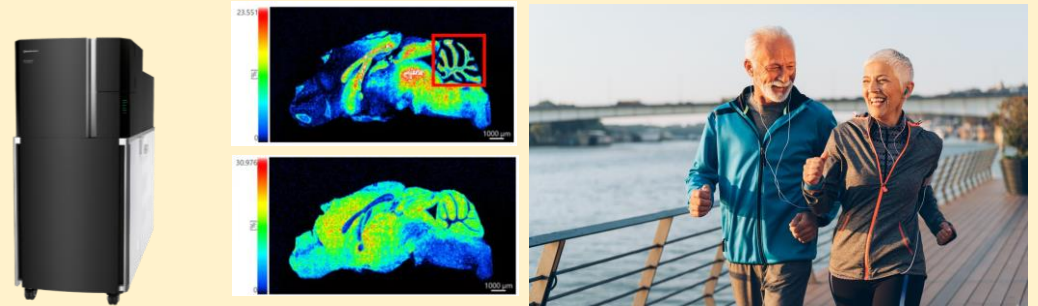
- ◆ 超硫黄分子を分析し、老化を防ぐ医薬品や食品の開発への貢献を目指す（2024年3月～）

骨粗鬆症予防と早期発見の仕組み構築を目指す



【人生100年時代のヘルスケア】

- 超硫黄分子は強力な抗酸化作用を持ち、疲労や老化、疾病の一因とされる過剰な活性酸素の働きをコントロールすると考えられており、**老化のメカニズムを解明し、健康寿命を延ばす**



イメージング質量顕微鏡

“人の命と健康” への貢献 (将来イメージ)



高速液体クロマトグラフ
質量分析システム



血管撮影システム



TOF-PET装置



超臨界流体クロマトグラフ
セミ分取システム



高速液体クロマトグラフ
イナートシステム



抗体糖鎖自動前処理装置

04 グリーン領域 ～地球の健康への貢献～

マイクロプラスチック問題の解決に向けて

マイクロプラスチック問題への対策

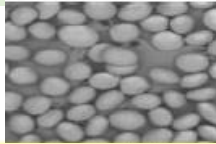
科学的知見の集積

- プラスチックごみのモニタリング
- 海洋流出量推計
- 生物生態系影響の検討 等



イノベーション

生分解性プラスチックの展開

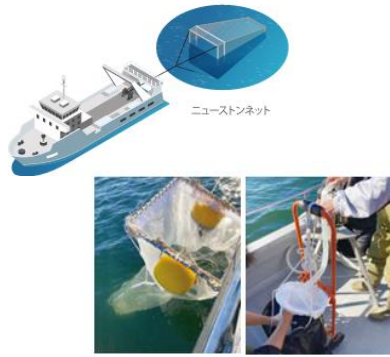


関係者の自主的な取組

自治体の取り組み、国民参加によるゴミ拾いなど



サンプリング



前処理

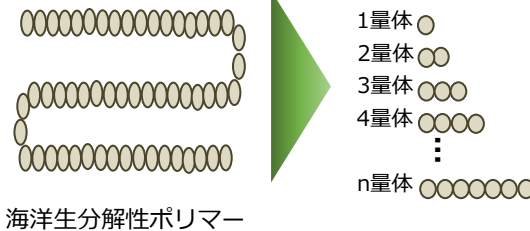
世界初

環境水からマイクロプラスチックの抽出/回収を自動化
→ 国際標準化へ



マイクロプラスチック自動前処理装置

開発中の素材の生分解メカニズムの解明



観察・分析・計測



質量分析システム



赤外顕微システム



イメージング質量分析システム

微生物などの働きを活用したものづくり ～バイオものづくり～

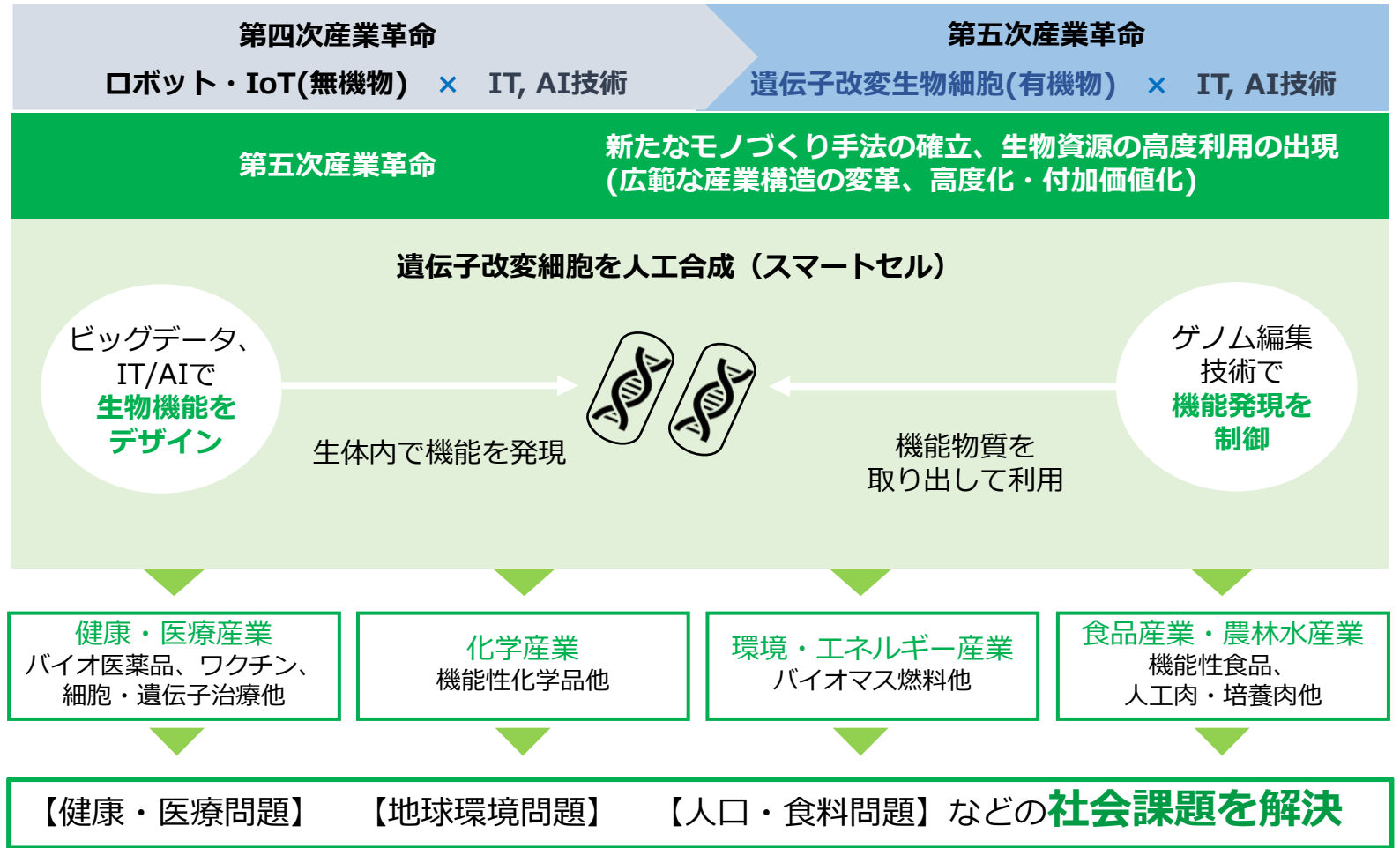
■ 市場規模

2030年：約200兆円

■ バイオ、製薬、新素材開発などに
**自律型実験システムを開発し、
社会実装へ**



自律型実験システム (Autonomous Lab)



グリーン領域 “地球の健康” への貢献 (将来イメージ)



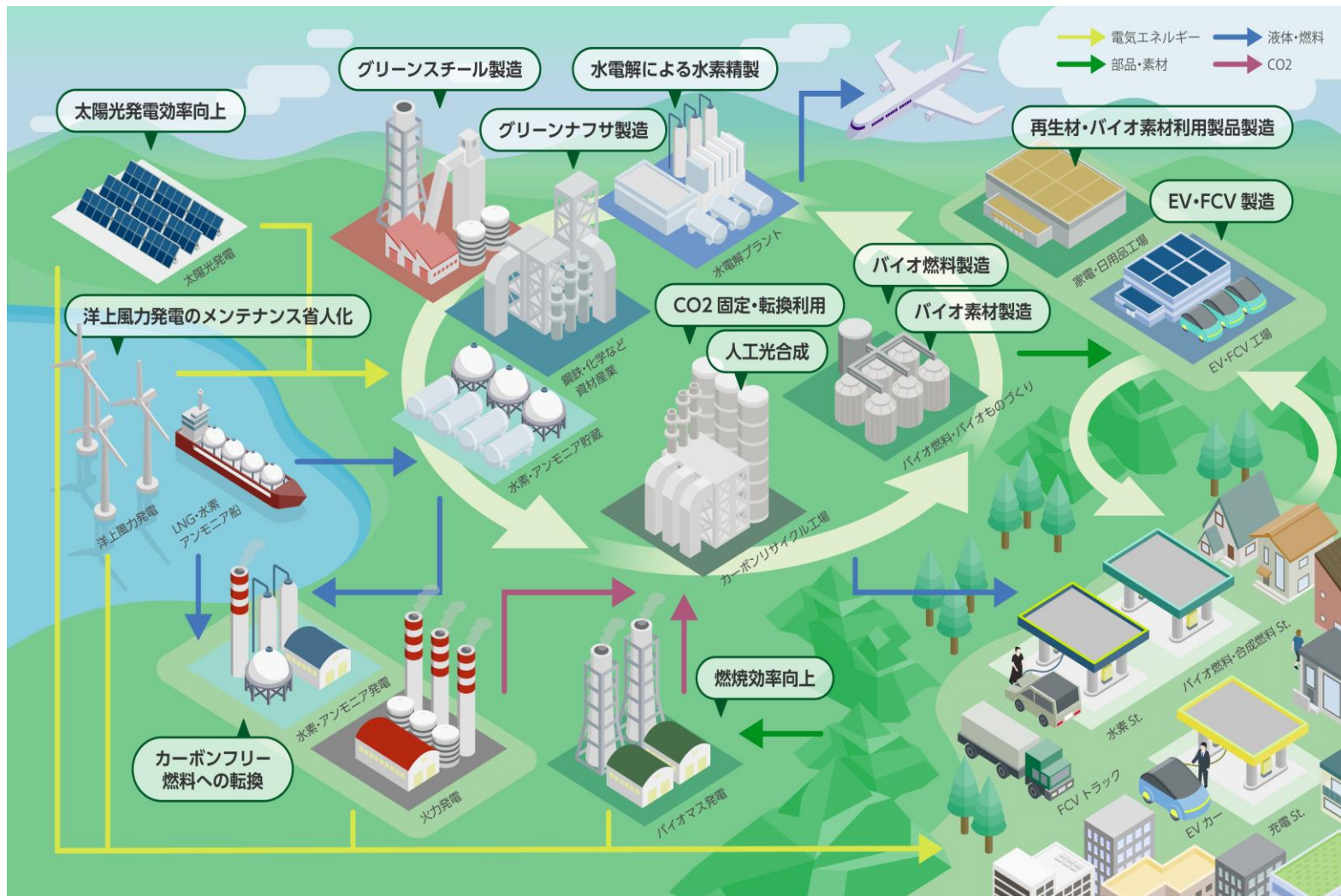
元素選択式
ガスクロマトグラフ
質量分析システム



温室効果ガスアナライザー



フーリエ変換赤外分光光度計



ターボ分子ポンプ 油圧ギヤポンプ



精密万能試験機



マイクロフォーカス
X線CTシステム

05 インダストリー領域
～産業の発展・安心安全な社会の実現への貢献～

インダストリー領域 産業の発展・安心安全な社会の実現への貢献

ターボ分子ポンプ

- ・高性能真空ポンプの一種。主に半導体製造装置に使用
- ・半導体需要の拡大にともない売上高増加
- ・世界シェアトップクラスを誇る



ターボ分子ポンプ



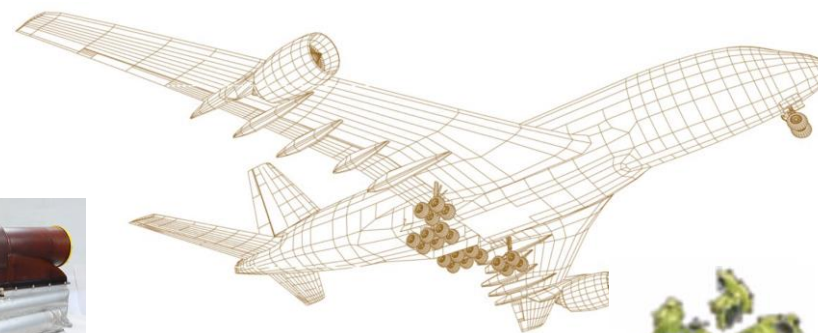
ロータ翼
(高速回転し真空状態を作り出す)

航空機用装備品

- ・売上高比率は防衛向け8割、民間航空機向け2割
- ・防衛分野：防衛力強化方針により需要拡大中
- ・民航分野：コロナ禍から回復した航空需要に対応



空調システム
機内の温度と圧力を調節。機内環境を総合的に最適化し、快適な環境を提供



フライトコントロールシステム
航空機の揚力や機体姿勢を制御。高い技術力で安全性・信頼性を実現

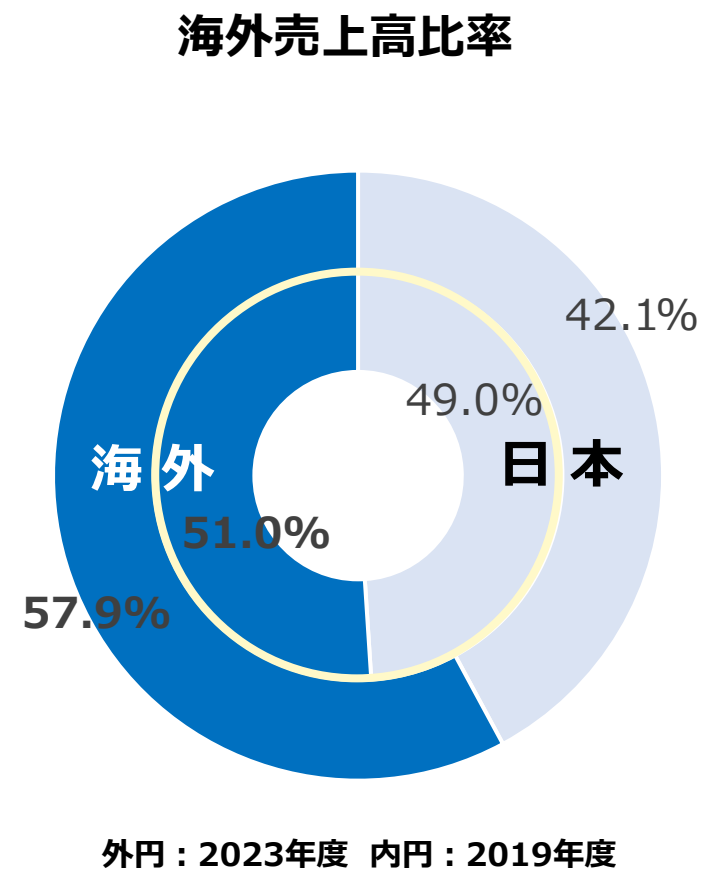
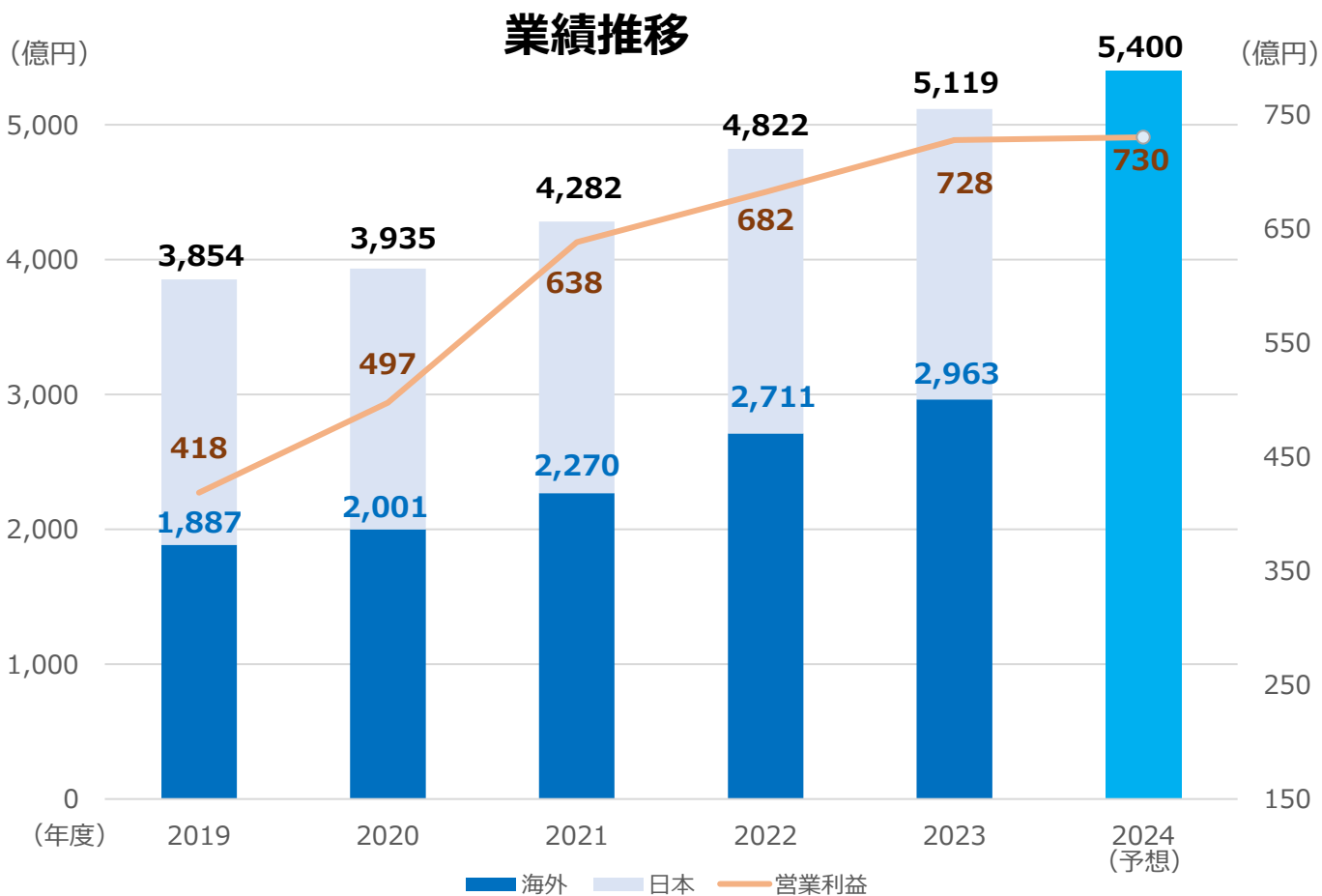
ディスプレイシステム
高度な電子技術、光学技術の融合により、パイロットの負荷を軽減



06 業績推移

業績推移

- 年平均成長率(2019~2024年度) 売上高：7% 営業利益：12%
- 5年間で海外売上高は約60%増加 (年平均成長率12%) 海外売上高比率は約60%へ拡大

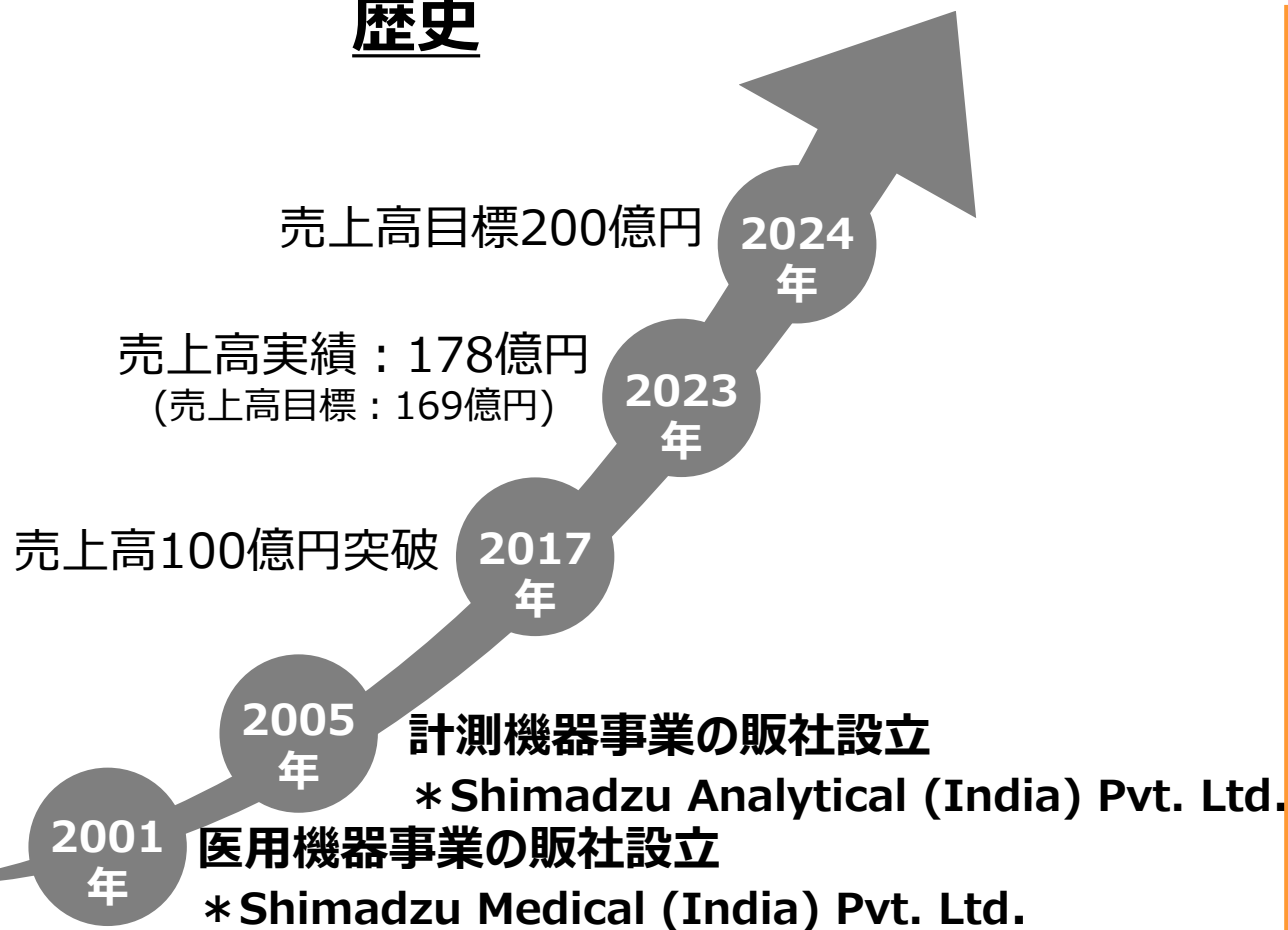


06 海外事業のご紹介 ～インドの成長戦略～

現在のインド事業

- 主に計測機器と医用機器の販売を行う。
- 計測は島津と代理店で全インドをカバー。総勢約1,500名体制

歴史



拠点

島津グループ販社

- ★ 本社
- 支店
- ラボ



ムンバイ本社
アプリケーションセンター



デリー支店
アプリケーションセンター



チェンナイ支店

島津代理店

- 拠点

インド事業の見通し

- 各領域で戦略を遂行し、2030年度に売上高350億円、2035年度に売上高470億円へ

ヘルスケア

【製薬 CRO・CDMO】

- ジェネリック医薬品、バイオ医薬品向けに計測機器を拡大

【臨床】

- 医療インフラの改善による医療アクセス向上に伴い、計測機器や血管撮影システムを拡販

【リチウムイオン電池 (Lib)】

- EVの普及、再生可能エネルギーの貯蔵需要の拡大

【環境規制】

- 環境規制強化による市場拡大
- PFAS、マイクロプラスチック向けにソリューションを提供

【化学製品・金属など素材市場】

- “Make In India” による製造業の需要増への対応
- 自動車、インフラ用途、水素運搬用途の新素材開発向けに計測機器の拡販

【半導体】

- 半導体製造装置向けターボ分子ポンプの参入

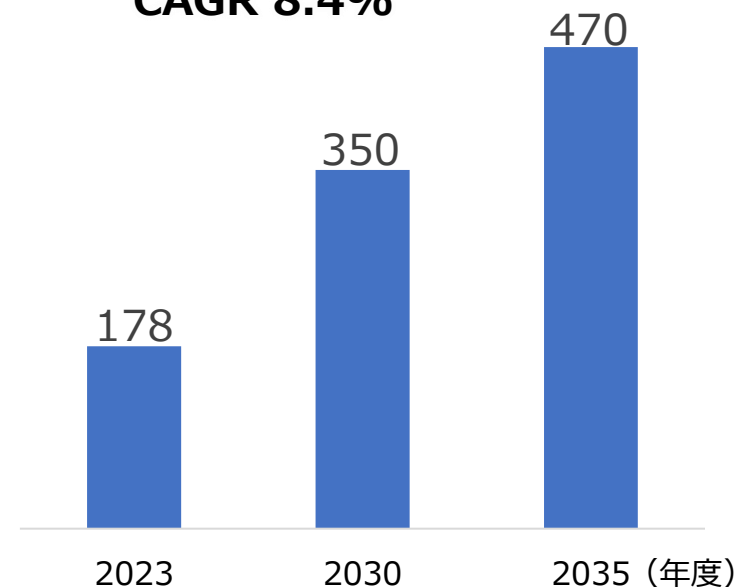
【フォークリフト】

- 環境規制に対応した電動フォークリフト需要に対応

インド売上高

(億円)

FY2023-2035
CAGR 8.4%



*2030年度、2035年度は 1ドル : 140円で換算

液体クロマトグラフでシェアNo.1

- 製薬市場で高いシェア：液体クロマトグラフ シェアNo.1
- ジェネリック医薬品の品質管理向けに、お客様の声を反映した使いやすく、省スペースの高性能製品を投入
- 製薬企業で重視されるデータ管理の負担をネットワーク構築で解決



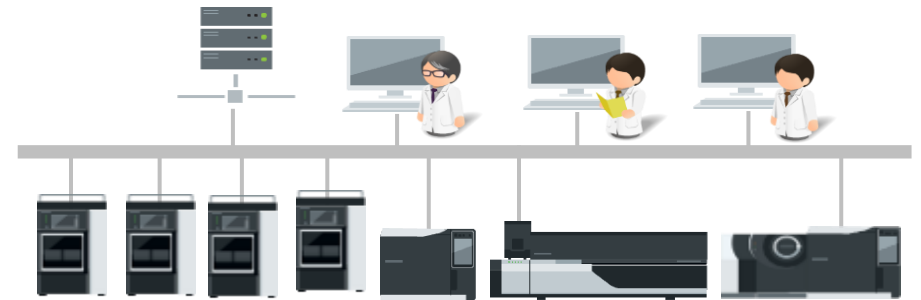
薬の生産量増加により
品質管理の需要増加



一体型液体クロマトグラフ
i-Series

薬の品質管理に
特化した製品を投入

- ・製薬企業向けに豊富な製品ラインナップを活かしたトータルソリューションを提供
- ・分析データ管理ソフトウェア (LabSolutions) によるネットワーク構築で、安全なデータ管理と効率化を実現



液体クロマトグラフ

インドシェア **1位 : 40%**
(世界シェア : 25%)

* FY2023時点 台数ベース

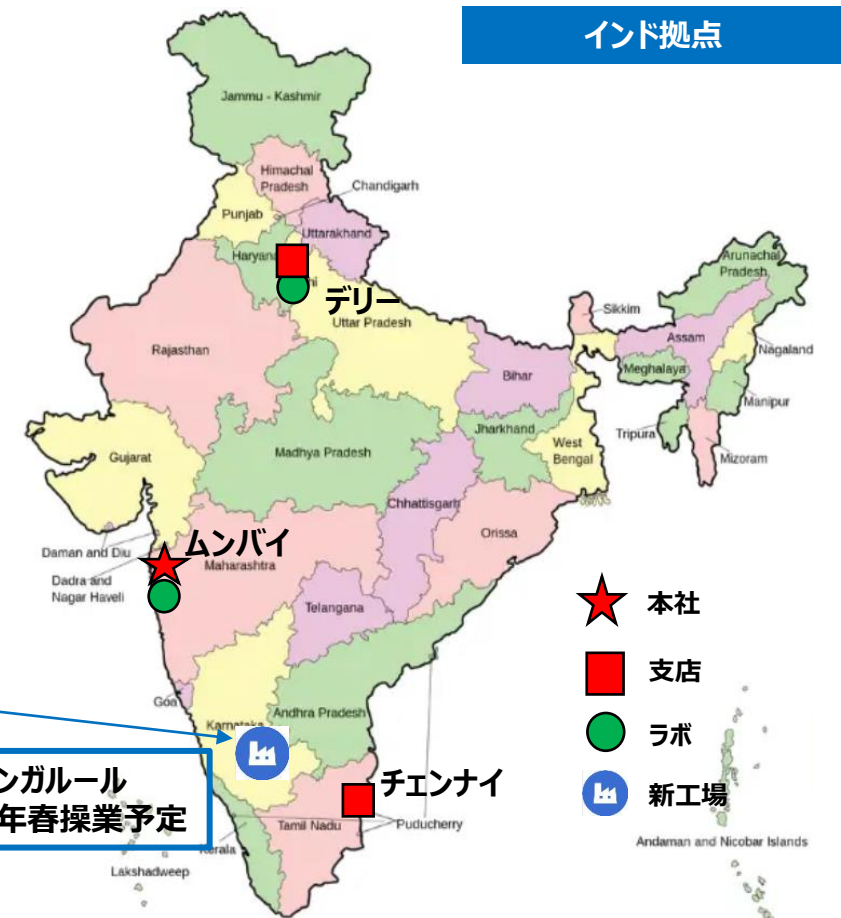


工場の新設

- 2025年3月に製造会社Shimadzu Manufacturing India Private Limitedを設立(2027年春操業予定)
- 当初は計測機器の製造だが、将来的には医用機器、産業機器(ターボ分子ポンプ)も視野に入れる

新工場の概要

- ・所在地 : カルナタカ州 ベンガルール
- ・面積 : 敷地40,000m²、建屋5,500m²
- ・事業内容 : 精密機器の製造
- ・従業員数 : 50名 *2035年150名を予定
- ・投資金額 : 約25億円
- ・その他 : 太陽光発電でCO2排出を削減

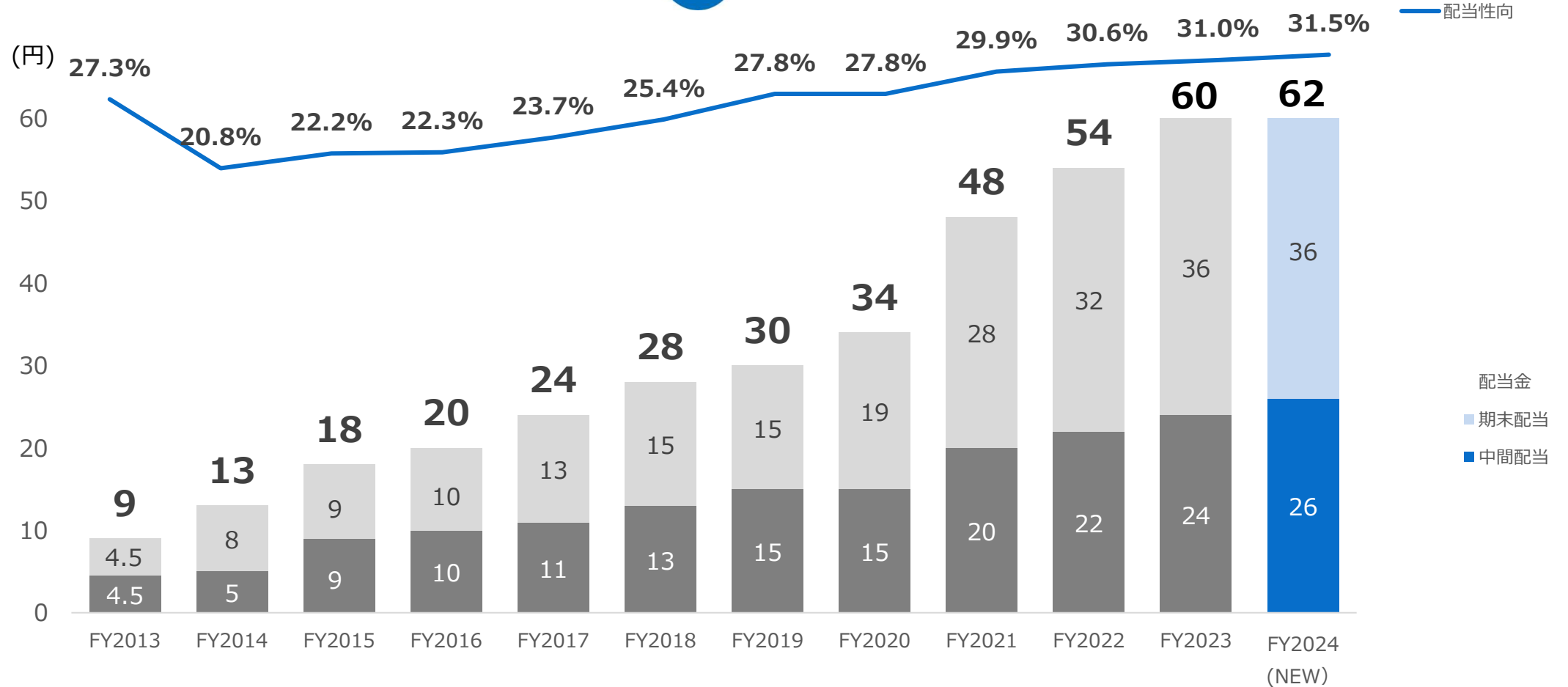


07 株主還元

株主還元


配当金
11期連続増配


配当性向
 2024年度は**31.5%**を予定



株価推移

時価総額：1兆1,739億円（2025年3月14日時点）

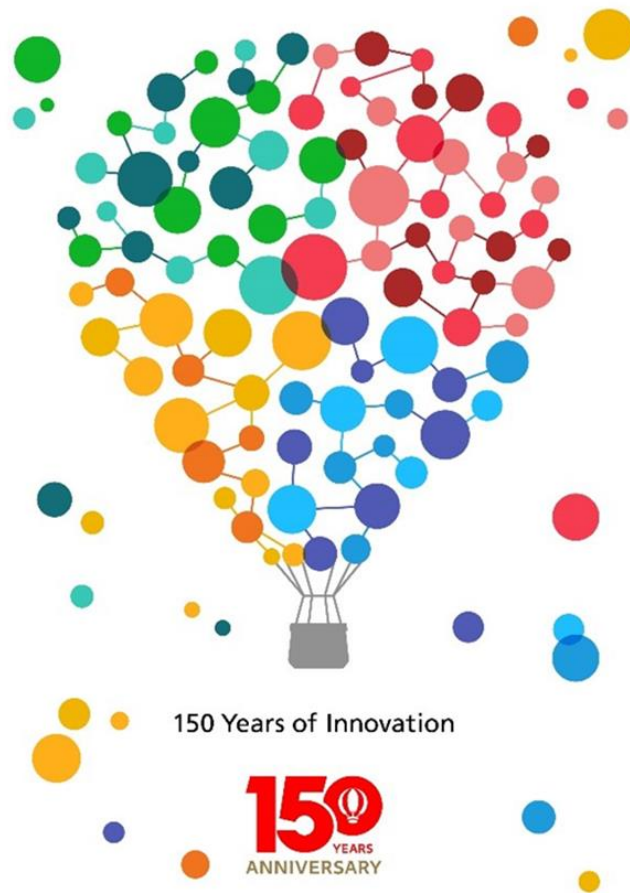


08 最後に

最後に



1877年12月
人に乗せた軽気球の飛揚に成功



島津製作所は、1875年に創業してから
2025年3月31日で創業**150周年**を迎え
ます。
今後も、ステークホルダーの要望に応える
“共有価値の創造”を通じて
プラネタリーヘルスを追求
してまいります。



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所

コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673

E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp